

施設概要

新庁舎の規模

建物用途／市役所庁舎
敷地面積／4,306.36m²
延床面積／5,932.15m²
規模／地上4階建地下1階
構造／鉄骨造
昇降機／エレベーター(26人乗り)1台
エレベーター(15人乗り)1台
一般駐車場／約150台
(公民館・図書館駐車場含む)

施工業者名

設計・監理／大建設設計(株)札幌事務所
建築／岩田地崎・林工務店・
水島特定建設工事共同企業体
機械設備その1／日比谷・村田・
オーハシ特定建設工事共同企業体
機械設備その2／五建・東洋特定建設工事共同企業体
電気設備その1／増井・平尾特定建設工事共同企業体
電気設備その2／平尾・増井経常建設共同企業体

補助金

新庁舎建設事業は、次の補助を受けて実施しました。
【公益財団法人 日本環境協会】
二酸化炭素排出抑制対策事業(再生可能エネルギー電気・熱自立の普及促進事業)

庁舎完成までの経過

平成29年4月／新庁舎建設基本構想に対するパブリックコメント実施	令和元年5月／実施設計完了
平成29年5月／新庁舎建設基本構想策定	令和元年8月／建設工事着工
平成29年11月／新庁舎基本計画に対するパブリックコメント実施	令和3年3月／建設工事竣工
平成29年12月／新庁舎建設基本計画策定	令和3年5月6日／開庁
平成30年9月／基本設計完了	

開庁時間のご案内

- 市役所／8時30分～17時15分(土日祝日年末年始を除く)
- ささえあいセンター／8時30分～17時15分(土日祝日年末年始を除く)

お問い合わせ

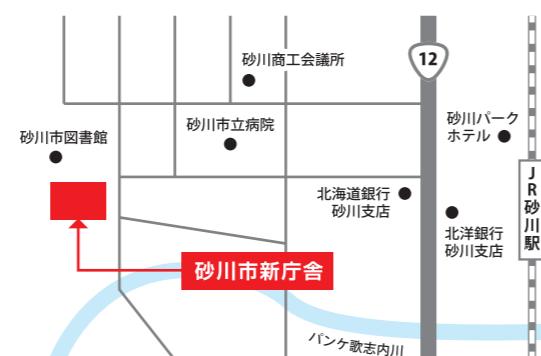
砂川市役所

〒073-0195 砂川市西7条北2丁目1番1号

0125-54-2121 (代表)

<https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/>

アクセス



砂川市新庁舎

SUNAGAWA CITY HALL

ご案内



新庁舎の特徴

大きく分けて3つの特徴を紹介します

1 / 市民の安全・安心を支える庁舎

防災拠点施設として、大地震においても倒壊しない耐震構造を有するなど、地震や水害をはじめとするあらゆる災害時にも機能を維持し続け、市民の安全・安心を支えることのできる庁舎となっています。

防災・救援拠点としての機能

防災拠点として、災害対策本部機能を3階に集約するほか、建物自体も耐震基準の1.5倍の強度を持ち、電気や給水などのライフラインの断絶時にも災害対策を継続できるよう、非常用発電機や給水の確保など災害発生時に市民の生活を守るために準備も万全です。



2 / 利用しやすく環境に優しい庁舎



▲エントランスホール



▲情報発信・フリー(交流)スペース

窓口部門の機能性と効率性を重視した、コンパクトな配置や自然エネルギーを取り入れた庁舎としています。

誰もが利用しやすい庁舎

市民利用の多い窓口部門を1階に集約することで、効率的に手続きができる窓口配置になっており、プライバシーに配慮した相談室も設置しています。

また、バリアフリートイレの設置や正面玄関から分かりやすい位置に階段、エレベーターを配置するなど、分かりやすく誰もが利用しやすい庁舎となっています。

環境に優しい庁舎

豊富な地下水がある砂川市の地域特性を生かした自然エネルギーを最大限に利用した地中熱ヒートポンプ設備を導入し、環境に優しいエコで省エネな庁舎です。

3 / 市民に親しまれる庁舎

市民の皆さんが気軽に休憩し、交流ができる憩いの場を設け、オアシスパークなどを見渡すことのできる庁舎となっています。

市民の交流・憩いの場となる庁舎

正面玄関を入ると、広々とした吹き抜け空間があり、そこからつながる“フリー(交流)スペース”は、だれでも気軽に利用できる明るく開放的な空間となっています。また、4階の“展望ラウンジ”では、砂川市の象徴ともいえるオアシスパークを一望できる空間をつくりました。



▲市民ワークショップで作成した革のオブジェ

▲展望ラウンジ

フロア案内

